

解 答

- 一 (a) 保障 (b) 由来 (c) 卷 (d) 指図
- 二 時代の要請で消え行く運命にあった点。
- 三 長い間誇りをもって都電の運転手を務めてきたので、最後の記念電車に乗るのは辛いえに、ぶっきらぼうな性格なので、晴れがましいものは照れくさかったから。
- 四 〔親孝行〕撮り直しをすることを、祖父の気持ちを傷つけずに説明しなくては、と困っていた父親のために、いやな役を買って出てくれたこと。
〔親不孝〕暗室を開けて、父の撮影したフィルムをだめにしたこと。
- 五 祖父の撮った写真がひどかったために撮り直しをすると感づいて、祖父が傷つくことは避けたいという思いを、皆が共有していたから。
- 六 祖父の心を傷つけないためと言いながら、撮り直しの理由を隠して外へ連れ出した。そんな隠し事をしている点を責められているようで、後ろめたく思っている。
- 七 そこはおそらく、都電
- 八 〔父〕入念に準備を整えた祖父の一世一代とも言える写真に、ぜひ成功して欲しいと強く願う気持ち。
〔祖父〕都電が往年の力を存分に発揮する瞬間を、ぜひとも撮影しようと強く決意する気持ち。
- 九 祖父と父の真剣なやりとりを見て、祖父が一発勝負の写真をうまく撮影できるか、緊張して見守るようす。
- 十 往年の力を存分に発揮した都電の姿が愛情を込めて写されている点。
- 十一 祖父の教えの通り、消え行く東京の風物をやさしさをこめて撮影するようになったから。
- 十二 工
- 十三 昔ながらの風物や商店などが時代の進歩から取り残され、消えていった。しかし、人々はそれにやさしさと愛情を抱き、自らの仕事に誇りを持って取り組んでいた。また、家族や身近な人ととの間が、思いやりと深いいたわりとで結ばれていた時代。